

平成28年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 総務課 秘書広報係

記載者職・氏名 鈴木諭

新規・継続	継続	予算事業コード	173
No 701	補助金名	下田市区長連絡協議会補助金	
根拠法			
交付要綱等名称 下田市負担金補助及交付金に関する規則			
総合計画の位置付け	施策体系	5-1-2 市民協働・地域コミュニティ	
	基本目標	開かれた市政運営を推進し、市民との協働によるまちづくりを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	下田市区長連絡協議会	事務局	総務課秘書広報係
補助金の性質 ☐ 運営費的補助 ☒ 活動費的補助 ☐ 施策的補助 ☐ 奨励的補助			
補助開始年度	補助終期設定	補助率	% 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
29	147,000	0	147,000
28	147,000	0	147,000
27	147,000	0	147,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
27	147,000	0	147,000
26	147,000	0	147,000
25	57,000	0	57,000
24	57,000	0	57,000
23	57,000	0	57,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ		
目的・内容	② 市が行う各種事業に伴う連絡・依頼等を円滑に行う。 市内39地区の相互の連絡を密にし、その活動を通じて住民生活の向上を図る。	10
国・県の補助の有無		
公益性の所在	① 市内39地区の区長からなる組織であり市と地域の橋渡し役として公益性は高い。	10
市が補助すべき理由	② 行政と地域が連携して地域経営を行うために必要な組織である。	10
代替手段との比較		
補助金の主な使途	③ 区長連絡協議会活動費(約700万円)の一部となる。	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法	③ 上記支出のため補助を受ける必要があるため 活動費 @1,460×39区=57千円 日帰り研修費用 90千円 合 計 147千円	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	③ H27決算による繰越金 190,848円	10
成果・費用対効果	④ 市内各区での共通活動について統制が図られている。	10
同一団体への他の補助金の有無	無し	
廃止の見込み、廃止の影響	市内各区の連携を欠くことになり、行政への信頼感の喪失に繋がる。	

○評価点

①公益性 10

②必要性 10

③適格性 10

④効果 10